

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針					備考	
	対象	実施状況(方針)		浜田市	江津市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県		
■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現										
1 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	洪水予報河川 水位周知河川	前期	洪水予報河川および水位周知河川の想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・公表	令和3年度まで	-	-	-	-	-	・八戸川、敬川の洪水浸水想定区域図を作成・公表し、江津市へ提供【H30】 ・三隅川、周布川、浜田川、下府川の洪水浸水想定区域図を作成・公表し、浜田市へ提供【R2】
	上記以外の県管理河川	新規	R6年度出水期までに全ての県管理河川に関する想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を作成・公表	令和4年度～令和8年度	-	-	-	-	-	・R6年度出水期までに想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を作成・公表
					RO4取組予定	-	-	-	-	-
2 水害・土砂災害ハザードマップの改良・周知	対象流域	前期	各市町村において、ハザードマップの改良・周知を行う	令和3年度まで	・県の浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップの見直し ・ハザードマップポータルサイトに登録し、住民等へ広く周知 ・印刷物の各戸配布 ・転入者等への水害ハザードマップの配布【R3】	・県の浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップの見直し ・ハザードマップポータルサイトに登録し、住民等へ広く周知 ・印刷物の各戸配布 ・出前講座等によりハザードを周知【R3】	-	-	-	-
	圏域	継続	現行のハザードマップの内容について、出前講座等で周知を図るとともに、新たに作成する浸水想定区域図等の更新および住民周知	令和4年度～令和8年度	・現行ハザードマップの配布・周知継続 ・浸水想定区域等の更新に合わせたハザードマップの更新・周知	・出前講座等によりハザードの周知継続 ・浸水想定区域等の更新に合わせたハザードマップの更新・周知	-	-	-	・新たに作成する浸水想定区域図及び土砂災害警戒区域図を市町へ提供する。 ・最新のハザードマップを出前講座で周知を図る。
					RO4取組予定	・現行ハザードマップの配布・周知継続 ・浸水想定区域等の更新に合わせたハザードマップの更新・周知	・出前講座等によりハザードを周知	-	-	-
3 避難勧告等情報の発令に着目した水害・土砂災害対応タイムラインの策定	洪水予報河川 水位周知河川	前期	水害対応(避難着目型)タイムラインを作成し、対象河川について運用訓練の実施や実洪水等により適宜見直し	令和3年度まで	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し ・一部見直しを実施 ・実災害において実施【R3】	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し ・一部見直しを実施【R3】	・タイムラインの策定に関する支援	・水害対応タイムラインの確認・調整、水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・一部見直しを実施【R3】	
	圏域	継続	作成したタイムラインについて、訓練や実洪水等により適宜見直し 土砂災害に関するタイムラインの作成・運用	令和4年度～令和8年度	・訓練や実洪水等により適宜見直し	・訓練や実洪水等により適宜見直し	・水害対応タイムライン見直し時において、相談があれば技術的助言を行う。	・タイムライン作成・見直しの際、防災気象情報を有効に活用する観点から適切な助言を行う。	・水害に関するタイムラインを実洪水や情報伝達訓練を通じて見直し ・土砂災害に関するタイムラインの作成・運用	
	圏域	継続	作成したタイムラインについて、訓練や実洪水等により適宜見直し 土砂災害に関するタイムラインの作成・運用	RO4取組予定	・訓練や実洪水等により適宜見直し	・訓練や実洪水等により適宜見直し	・水害対応タイムライン見直し時において、相談があれば技術的助言を行う。	・同上	・同上	
4 洪水時・土砂災害における河川管理者(気象台)からの情報提供(ホットラインの定着を含む)	洪水予報河川 水位周知河川	前期	出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る	令和3年度まで	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る ・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施【R3.4.22】	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る ・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施【R3.4.22】	-	-	-	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る ・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施【R3.4.22】
	圏域	継続	出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る 【課題】 実施状況を記録として残し、タイムラインの見直しに活用	令和4年度～令和8年度	・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施	・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施	-	・出水期前に、洪水・土砂災害に係る防災気象情報の発表・伝達訓練等を行い、連携強化による円滑な作業実施と連絡体制等の定着・充実に努める。	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る。	
					RO4取組予定	・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施	・洪水対応演習に併せ、ホットライン連絡先の確認を実施	-	・県主催の「土砂災害に係る情報伝達訓練」に参画。また、県と共同で部外配信を含む「洪水予報演習」や「土砂災害警戒情報伝達訓練」等を実施する。	・洪水情報伝達訓練(R4.5.10)及び土砂災害警戒情報伝達訓練(R4.6.9)による連絡体制の定着を図る。

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針					備考	
	対象	実施状況(方針)		浜田市	江津市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県		
5 避難勧告等情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報等提供の充実	圏域	前期 防災気象情報の改善 水防情報システムの開発・運用	令和3年度まで	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年6月20日より降水短時間予報をこれまでの6時間先までから15時間先まで延長 平成31年3月14日より、台風強度予報をこれまでの3日間から5日間先まで延長 洪水危険度分布において、本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチを掛けて危険度を表示する改善を行い、令和2年5月28日から運用開始。 大雨特別警報から大雨警報へ切り替え後、河川水位上昇や氾濫への警戒を呼び掛ける府県気象情報(洪水予報(臨時))を、河川管理者と共同して令和2年7月4日から発表開始。 新たな発表指標(土砂災害における短時間指標)を用いた、大雨特別警報の全国的な運用を令和2年7月30日から開始。 大雨警報(浸水害)、洪水警報等の基準について、新たな災害事例を追加した評価・検証による見直しを行い、令和2年8月6日から運用開始。 大雨特別警報の発表基準を、警戒レベルとの関連が分かりやすいよう、雨を要因とする基準に一元化し、令和2年8月24日から運用開始。 5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式の気象情報等により、令和2年8月26日から提供開始。 24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、タイムライン支援のため、これまでの「1日先まで」から「5日先まで」に延長し、令和2年9月9日から運用開始。 気象庁ホームページの台風情報を、14か国語で令和2年9月16日から提供開始。 大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準見直しを実施。新基準の運用開始(継続作業)(令和3年6月8日より) 記録的短時間大雨情報の改善(令和3年6月8日より)。 「キキクル(危険度分布)」通知サービスの細分化(令和3年6月8日より)。 警戒レベルと対応した高潮警報等に改善(令和3年6月8日より)。 線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起(令和3年6月17日より)。 指定河川洪水予報の改善(令和3年6月1日より)。 防災気象情報と警戒レベルとの対応(令和3年出水期より)。 防災情報提供システムでキキクル(危険度分布)のメール通知を開始(令和3年6月3日より)。 	<ul style="list-style-type: none"> 新水防情報システムの運用 周知への取組 雨量計、水位計等の更新 次期水防情報システム運用開始【H31.3.8】 雨量計、水位計等の更新完了【～R2】 		
				令和4年度～ 令和8年度	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報(浸水害・土砂災害)・注意報、洪水警報・注意報について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。土砂災害警戒情報についても島根県と連携して評価・検証を行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 水防情報システムの運用・周知 土砂災害危険度情報の運用・周知 	
		圏域	継続 防災気象情報の改善 水防情報システムの更新・運用 土砂災害危険度情報の運用・周知	RO4取組予定	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報(浸水害・土砂災害)・注意報、洪水警報・注意報の新基準運用開始(5月予定) 国管理河川における指定河川洪水予報(氾濫危険情報)の運用改善(6月予定) キキクル「うす紫」と「濃い紫」の統合、「黒」(特別警報)の新設(6月予定) 大雨特別警報(浸水害)の指標改善(出水期予定) 高潮の早期注意情報の運用開始(8月予定) 季節予報解説資料のHP提供形式の変更(4月予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 水防情報システムの運用・周知 水位計等の保守 土砂災害危険度情報の運用・周知 	

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針					備考
	対象	実施状況(方針)		浜田市	江津市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県	
6 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	モデル河川	前期 モデル河川において、危機管理型水位計を整備	令和3年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 河川監視カメラの設置(5箇所)(周布川2、三隅川1、岡見川1、都川川1) 市HPでのカメラ画像配信開始 市HPでのカメラ画像配信(継続) 設置状況の検証【R3】 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民にも分かりやすい橋桁等への水位表示の設置を河川管理者と調整し推進する 河川管理者と調整の上、都治川に量水標の設置(1箇所)を実現 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 水位計、簡易水位計の整備 浜田市:周布川(栃下橋)、江津市:八戸川(長尾橋)、敬川 水位表示板整備 江津市:都治川 河川監視カメラの整備 浜田市:浜田川、下府川、三隅川、周布川 江津市:敬川、八戸川 【いずれもR2までに完了】 	
	県管理河川	継続 浸水被害が発生するなど住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備	令和4年度～令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> 市HPでのカメラ画像配信(継続) 設置状況の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 県管理河川での必要箇所を検討 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 市の要望を踏まえ住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備 	
				RO4取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 市HPでのカメラ画像配信(継続) 設置状況の検証 県設置箇所への要望 	<ul style="list-style-type: none"> 県管理河川での必要箇所を検討 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 新たにカメラを整備 ○周布川 1箇所 ○浅井川 1箇所 ○都治川 1箇所
7 住民の水防災・土砂災害意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及や訓練	圏域	前期 出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る	令和3年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信 防災出前講座開催(73回)、広報紙掲載、ケーブルテレビ放送【R3】 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座等により水防情報の入手、活用方法等について周知を図る 防災出前講座開催(11回)、広報紙掲載【R3】 	<ul style="list-style-type: none"> 防災知識の普及に協力 	<ul style="list-style-type: none"> 浜田市防災会議において、津波防災に関する知識の普及を実施した【H29.5.19】 江の川洪水予報連絡会幹事会において、防災気象情報の改善について説明した【H29.6.7】 浜田市総合防災訓練において気象、地震に関するパネル展示を実施した【H29.6.11】 江津市青陵中において津波ワークショップを実施した【H29.10.17】 江の川下流洪水予報連絡会幹事会において、「防災気象情報の改善について」と題し情報提供【R2】 江の川下流洪水予報連絡会幹事会(書面開催)において、「防災気象情報の改善について」と題し情報提供を行った。【R3】 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 広報紙を活用した防災情報発信 新聞広報(考える県政)【H30.6.23】 江の川総合水防演習において、パネル・模型展示【H30.5.13】 桜江小学校へH30.7豪雨に関する出前講座【H30.11.6】 新聞広報、出前講座の実施 防災養成研修等の実施【R3】 	
	圏域	継続 出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る 出前講座等を活用し、マイタイムライン等の普及を図る【追加】	令和4年度～令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座開催、広報紙掲載、ケーブルテレビ放送 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座の実施、広報紙掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座による水防情報の入手、活用方法等及びマイ・タイムラインの普及について、引き続き取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座等により防災気象情報の入手・活用方法等を周知し、防災知識の普及・啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座により防災情報の入手、活用方法等を周知 広報紙を活用した防災情報発信 出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る 	
				RO4取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座開催、広報紙掲載、ケーブルテレビ放送 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座の実施、広報紙掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座による水防情報の入手、活用方法等及びマイ・タイムラインの普及について、引き続き取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼に基づき、出前講座等の実施や各種訓練に協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座により防災情報の入手、活用方法等を周知 広報紙を活用した防災情報発信 出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る 防災学習会を実施予定
8 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	県管理河川	前期 出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	令和3年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検・水防倉庫内の整理等を実施 出水期前の共同点検(周布川)【H30】 【R3】コロナ感染拡大防止の観点から中止 	<ul style="list-style-type: none"> 出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検 【R3】未実施 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 周布川の共同点検を実施【H30.6.8】 水防資機材の提供方法について検証(浜田県土から遠方にある江津水防倉庫については、江津市へ鍵を貸与) 水防倉庫内の整理 (R2以降、共同点検はコロナ感染拡大防止の観点から実施困難) 	
	県管理河川	継続 出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	令和4年度～令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> 出水期前の河川共同点検 水防倉庫内の整理・収納位置の明確化等に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との情報共有と共同点検の実施 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検を実施 	
				RO4取組予定	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染拡大の観点から共同点検は要検討 引き続き、水防倉庫内の整理・収納位置の明確化等に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 予定なし 	-	-	<ul style="list-style-type: none"> (コロナの感染状況により実施困難)

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針					備考
	対象	実施状況(方針)		浜田市	江津市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県	
9 水害・土砂災害危険性の 周知促進	圏域	前期 過去の浸水実績等の周知	令和3年度まで	・浸水実績等の周知検討 ・防災出前講座開催、広報紙掲載、ケーブルテレビ放送【R3】	・浸水実績等の周知検討 ・【R3】未実施	-	-	-	
	圏域	継続 出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害・土砂災害危険性を周知	令和4年度～ 令和8年度	・防災出前講座開催、広報紙掲載、ケーブルテレビ放送	・出前講座時に浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害危険性を周知	-	-	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害(土砂災害)危険性を周知	
			RO4取組予定	・防災出前講座開催、広報紙掲載、ケーブルテレビ放送	・出前講座時に浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害危険性を周知	-	-	・同上	
■要配慮者利用施設における確実な避難									
10 要配慮者利用施設の管理 者が策定する避難確保 計画作成及び訓練実 施の支援(水害・土砂災 害)	圏域	前期 浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	令和3年度まで	・平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 ・随時面談・電話による作成相談を実施 ・提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施 ・【R4.3月末時点】 対象施設 60施設 作成済施設 45施設	・対象施設の策定状況の把握と策定に必要な支援の実施 ・計画の作成支援を行い、全ての対象施設で計画を作成【R3】	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画作成に関する支援	・説明会及び避難確保計画作成に協力し、助言を行う。 ・説明会及び避難確保計画作成に係る助言の依頼がなく、未実施。【R3】	・施設管理者向け説明会の開催【H28】 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有	
	圏域	継続 新たな浸水想定区域図に基づき、浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	令和4年度～ 令和8年度	・新規施設の掘り起こし ・計画作成支援(継続)	・要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、避難訓練の実施等をフォローアップ	・要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	・要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施を支援し、防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う(水害・土砂災害)。	・施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有	
			RO4取組予定	・新規施設の掘り起こし ・計画作成支援(継続)	・要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、避難訓練の実施等をフォローアップ	・要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	・同上	・説明会及び避難確保計画作成に協力し、助言を行う。	
■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る									
11 河川改修、堆積土砂の 撤去等による洪水氾濫を 未然に防ぐ対策	圏域	前期 通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	令和3年度まで	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整し、優先順位を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し、優先順位を定めて順次実施	-	-	・河川整備状況を共有 ・河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施 ・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係市と調整し優先箇所を定めて順次実施 ・細田川ほか「13河川」で実施【R1】 ・細田川ほか「13河川」で実施【R2】 ・三隅川ほか「10河川」で実施【R3】	
	圏域	引継 通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	令和4年度～ 令和8年度	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整し、優先順位を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	-	-	・通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	
			RO4取組予定	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整し、優先順位を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	-	-	・実施状況報告等	
12 排水施設、排水資機材 等の情報を共有	圏域	前期 排水施設、排水資機材等の情報共有河川管理施設、河川占用施設の適正な管理と点検の実施	令和3年度まで	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・令和3年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有【R3】	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・令和3年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有【R3】	・排水施設、排水資機材等の情報の提供 ・排水計画策定に関する助言 ・排水作業準備計画の更新	-	・水防計画により排水施設、排水機材の情報共有 ・令和3年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	
	圏域	継続 水防計画や関係機関との連絡調整会議等により、排水施設や排水資機材等の情報を共有	令和4年度～ 令和8年度	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・排水施設、排水資機材等の情報の共有	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。	-	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・長期にわたり浸水が継続し、重要施設(市町村庁舎等)が在する地域において排水計画を作成	
			RO4取組予定	・令和4年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	・令和4年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。	-	・令和4年度水防計画により排水設備、排水機材の情報共有	

主な取組項目 赤字は土砂災害追加	全体方針(5ヶ年)			目標時期	各団体の個別方針					備考	
	対象	実施状況(方針)			浜田市	江津市	出雲河川事務所or 浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県		
13 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	前期	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	令和3年度まで			・[R3]未実施	-	-	・[R3]未実施	
	圏域	継続	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	令和4年度～令和8年度	・情報伝達について随時検討する	・予定なし	-	-	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有 ・浸水想定区域内の市町村庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について協議会で共有		
				RO4取組予定	・情報伝達について随時検討する	・予定なし	-	-	-		
■他機関との多角的な連携											
14 他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る。	-	-	-	令和3年度まで	-	-	-	-	-	-	
	圏域	新規	協議会の内外問わず、他機関と広く連携した取り組みを推進し、相互に認識を共有のうえ地域防災力の向上を図る。	令和4年度～令和8年度	-	-	-	・各市町村の防災対応について、専任職員「あなたの町の予報官」が、平常時からきめ細かく支援する。 ・報道機関等部外との懇談会・打合せを定期的に開催する。 ・地方公共団体における防災担当職員等養成の一環として、依頼に基づく助言・講演や各種ワークショップを開催する。	-		
				RO4取組予定	-	-	-	・同上	-		